

# 宇管工 業務職員「水廻り」研修会 学校環境改善へ実践的指導

宇都宮市管工事業協同組合(中村勝理事長)は27日、宇都宮市平出工業団地の組合会館で市学校業務職員15人を対象に水廻り研修会を開催した。青年部会(廣田勝義部会長)の会員14人とLIXIL、TOTTOの担当者が講師を担当。職員がトイレタニクの仕組みや図面の見方などを座学で学び、ボールタップや蛇口交換、便器詰まり解消な

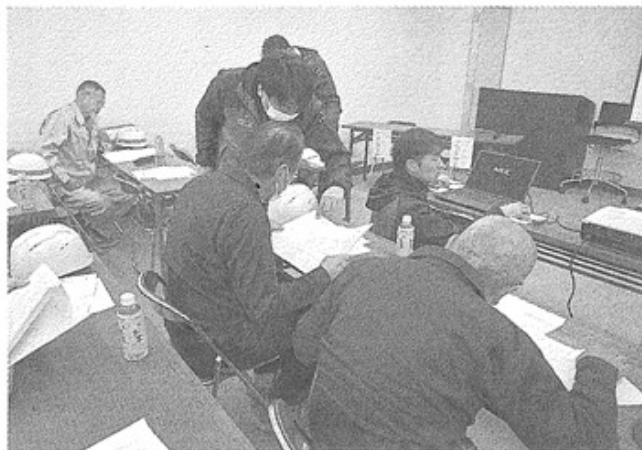


小林係長



小牧副理事長

水濡れ補修方法や図面の見方を学んだ研修



どの実技を行った。小牧伸敏副理事長は「学校業務職員への研修は、市のまちづくりと人づくりに寄与する組合の社会貢献活動。円滑に学校業務を遂行できるように知識と技術を習得してほしい」とあいさつ

した。学校業務職員への研修は今年で11回目。熊谷圭司教育技術委員長が「『工具や接着剤の使い方を教えてほしい』『図面の見方を理解して水濡れに適切に対応したい』という要望を踏ま

え、より充実した研修となっている」と今年の内容を説明した。市学校管理課施設維持グループの小林弘明係長は「水廻りは学校で児童生徒が安心して学ぶ環境のため

と技術を学ぶとともに、実践的なスキルを身につけて適切な管理体制を整え、皆さんと共により良い環境づくりに努めていきたい」と期待と感謝の言葉を述べた。

講義では青年部会の西浦学氏が市内の学校で採用されている水道直結・高架水槽・加圧給水の3つの方式の主要な設備と経年劣化などを説明。廣田部会長ら会員が図面の見方を指導した。LIXILの担当者はトイレタニクの構造とボールタップの交換について説明した。実技は会館駐車場で実施。受講者は蛇口交換や便器詰まり解消を体験。LIXIL、TOTTOの担当者がトイレタニクの実物を提供し、内部の構造や補修方法などを伝えた。